



Good Wood Communication!

かけがいの森から



2009年山にどんな風が吹く?

掛川の山の行方は?

順風と逆風のなかで

最近の組合長の話で特に印象に残った言葉がある。「最近の林業界には強い追い風と、強い向かい風が同時に吹いている」という言葉だ。順風と逆風が同時に吹いているというのだ。

順風とは、山の治山的価値や二酸化炭素吸収源としての環境



的価値が見直され、公共事業として森林整備が強く推進されていることで、逆風とは、相変わらず材木価格は上向かず、低迷状態が常態となり、山林所有者は、再造林を前提とした山林経営がまったく出来なくなっていることだという。

確かに、森組の業務の中でこの二つの風を強く感じている。



そして、同時に考えさせられることは、この吹き荒れる風の中、森林所有者の団体である森林組合がどのような役割を果たすか、ということだ。

管内の森林整備の担い手として山づくりに取り組むと共に、山の価値、木の価値向上にも努めていかなければならない。

2009年、風向きはどのよう
に変わってくるだろうか? 追い風を待つのみでなく、ヨットマンのように様々な吹く風にあわせて帆の向きをかえ、それを推進力として、課題に取り組んでいきたい。

掛川の山と所有者さんが少しでも明るく元気になるように。そして、少しでも皆さんのほほに優しい風が届きますように。

あけましておめでとうございます
本年もよろしく願っています。

女子職員二人(新しい制服で)



新春★女子職員対談 part2

角皆藍子♥ × 落合直子♥ テーマは『夢』

落合♥「ねえ、藍ちゃんは宝くじって買う派?」

角皆♥「私は買わない派ですね。確率考えると買えませんよ。よく現実派って言われます。」

落合♥「私は毎年30枚くらいは買う。夢を買うの。」

当たったらどうよかなあ...なんてね。」

角皆♥「えー何に使うんですか?」

落合♥「車でしょ、その他もろもろ...ね。!(^_^)！」

角皆♥「なんかとっても楽しそうですね。でも落合さん、当たっても内緒にできます? にんまり顔に出ちゃったらきっと直ぐに分っちゃいますよ!」

落合♥「そっか。きつその笑顔は隠しきれないわ。」

ところで藍ちゃんの『夢』って何?

角皆♥「私の夢ですか? そうですね... うーん... いいお嫁さんになることかしら!!」

落合♥「ああ、それは素敵な夢だね!」

ひょっとして旦那さん候補いるのかな?」

角皆♥「それを見つけるのが今年の大きな夢かなあ(^_^)」
おしまい

栗ヶ岳「茶」文字の概要を紹介

所在地 掛川市東山1051-1
所有者 東山財産区
形態 ヒノキ 二十三年生
二列配置 本数 約千本
文字延長 約六百二十M
植栽場所の勾配 三十七度

昭和はじめ、地元の方々が手旗信号で位置出しをして、植えられた初代の茶文字。初代はマツだったとのこと。その後、松くい虫でマツが枯れ、その根元に植えられたのが現在の茶文字。二十三年生のヒノキです。遠くから良く見え、掛川のシンボルのひとつですね。



秋田県鹿角森林組合を表敬訪問～榛村組合長と今橋職員～



昨年度から冬場の間伐作業をお手伝いいただいている、秋田県鹿角森林組合さん。今年もお世話になることになりました。それに先立って10月18・19日、榛村組合長と今橋職員が鹿角森林組合を表敬訪問しました。鹿角市は盛岡駅から、のどかなローカル線、花輪線で2時間ほど。秋田県の北東の端、岩手県境に近い街です。森林組合は、組合事務所に隣接して製材加工やチップ化施設があり、森林整備以外にも幅広く事業を展開されていました。秋田県の中でも中核となっている森林組合のようです。鹿角森林組合の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。(ちなみに、鹿角市はきりたんぼの発祥地だそうです。)

栗ヶ岳の「茶」文字の整備を行っています～静岡空港開港を機に～

静岡空港から見え、飛び立つ飛行機からも目立つ、栗ヶ岳の「茶」文字。お茶の木で出来ていると思っている方も多いようですが、実はヒノキで形作られています。このたび掛川市発注の茶文字修景事業を受注し、整備をさせていただきます。枝を落としたり、梢を伐採したりして細くすっきりさせます。



ヒノキの梢を伐採作業中

森林組合からのお知らせ

●チェーンソー目立て講習会を開催します

是非、あなたのチェーンソーも切れる刃に！

日時 平成 21 年 1 月 31 日 (土)

午前 10 時より

場所 森林組合事務所

参加費 一人 500 円

参加申し込みは 0537-25-2111 まで



●ホームページを開設しました

掛川森組の情報が満載

是非ご覧ください。検索は

掛川市森林組合

かけがわの森から



●山の講で安全を祈願しました

11 月 7 日、恒例の山の講の

神事を行い、この冬の作業の

安全を祈願しました。



●三浦造林の皆様が今年も来てくれました

今年も鹿角森林組合を通じて岩手県八幡平市の三浦

造林さんが、冬場の間伐を手伝いに来てくれました。

三浦文雄さん、斉藤誠二さん、三浦一幸さん、三浦

康徳さん、柳館一平さん、よろしくお願いします。

恋の季節? ~カモシカの追いかっこ~

秋のある日、山で一服していると、遠くからガサガサッと音が聞こえてきた。よく見ると、2頭のカモシカが山の中を走り回っています。どうやらオスがメスを追いかけているみたい。秋はカモシカにとって熱い恋の季節?? 写真は、メスに振り切られてしまったオスのカモシカ。残念!! あきらめないで頑張れよ~



見えました?

製材屋さん・建築屋さんが山を視察 -----



リフォーム材の製材、加工を担当される方が、伐採して葉枯らし中の山を、視察に訪れました。これらの木が家の形になるのはもう少し先・・・

造材作業 -----

造材とはまさしく材を造る作業。一本の立木を建築材料となる丸太にする。枝を払ったあと、木の直径や、曲がり具合、節の多さなどから必要な丸太の長さを決め、チェーンソーで慎重に玉切りをする。



(造材作業中の岩佐さん)

グラップル・スイングヤードの活躍 -----

作業は林業用の機械を使って行う。よく目にする建設機械を林業用に改造してある。丸太を掴んで整理・はい積みをする「グラップル」。二胴のウインチを備え、材の引き寄せを行う「スイングヤード」二台が活躍しています。



(丸太を掴むグラップル)

搬出作業 -----

集積・はい積みした丸太をトラックに積み込んで、山から搬出。事前に作業路を改良しておいたため大型トラックが作業路に進入し積込・運搬作業を行っています。行き先は浜北にある森林組合連合会の原木市場です。



(トラックを待つ丸太)

~ 次回は「製材・乾燥」編になるでしょうか。お楽しみに~

森林データ

面積 2.5ha 立木密度 1100/ha 70年生
平均胸高直径 28cm スギ:ヒノキ=1:9



“これいい!” 購買担当「藍ちゃん」の

オススメGOODS!!

山行苗木

スギ ￥114 (税込)
ヒノキ ￥119 (税込)
コナラ ￥150 (税込)
3月下旬ころ入荷予定です



しいたけ種駒「にく丸」 ￥2,888

ストップ付MSP-ドリワきり ￥598

菌を打った翌年の秋から発生し、その次の春がピークです。菌打ちに必要なキリも

一緒に



いざ間伐!
本年度は森林整備約二百ヘクタール
◆治山事業による本数調整伐
県の治山事業による間伐は、原泉地区にて六年間行われてきましたが、本年度が最終となります。本年度実施面積は約百ヘクタールで、六年間で合計、五百七十七ヘクタールの山が整備されました(本年度分を含む)。来年度以降は西之谷川流域が対象となる見通しです。
◆森の力再生事業による環境伐
本年度十二月現在、三本の申請(原里地区・大和田地区・丹間地区)を上げ、計六十五ヘクタールを実施しています。一月上旬には四本目として居尻地区・栗ヶ岳北側の申請を上げる予定です。本年度は四箇所の実施になりますが、来年度以降の施工希望地を募集しておりますので、どうぞお気軽にご相談ください。
共に、いい山を沢山つくっていきましょう。

ひとこと 平成 20 年のおわり、森林組合に長年勤め、業務を支えてこられた 3 人の方が退職されました。天野幸雄さん、中山忠一さん、寺田幸三さんです。3 人の皆様はともに昭和 40 年ころ森林組合に入られました。現場では現場指揮官として、またトラックやブルドーザのオペレータとして、時にはチェーンソーを持ち、時には営業マンとして、それぞれの分野で、活躍されました。皆様が山に残してくれた功績を、若手が引き継ぎたいと思います。そして、これからも時々森林組合に寄って若手を叱咤激励いただければと思います。本当にお疲れ様でした。



掛川市森林組合

TEL 0537-25-2111 FAX 0537-25-2113

E-mail kakemori@vc.tnc.ne.jp